

シビル NPO 連携プラットフォーム設立シンポジウム開催される

土木学会創立 100 周年事業の一環として、今年 3 月に設立されたシビル NPO 連携プラットフォーム（CNCP）が、この度、東京都から特定非営利活動法人としての認定を受けました。8 月 1 日に法務局に登記手続きをすませ、正式に NPO 法人としてのスタートを切りました。この日、土木学会の講堂において、設立記念シンポジウムが開催されました。

冒頭、CNCP の山本代表理事から「CNCP のビジョンとミッション」について話題提供がなされ、続いて、NPO 法人日本 NPO センター早瀬昇代表理事から「事業型 NPO 活動支援のための中間支援組織」、NPO 法人日本 PFI/PPP 協会植田和男理事長から「官民連携の最適解を探る」、そして NPO 法人シビル NPO 連携プラットフォーム辻田満常務理事から「シビル NPO の現状と課題」について、それぞれプレゼンテーションが行われました。

その後、パネルディスカッションが行われ、早瀬氏からはこれからスタートする中間支援組織としてなすべき重要なことについて、植田氏からは弱体 NPO を強くするために最も重要なことについて、それぞれ説明がありました。これらの中から、とても参考となるポイントのいくつかを列挙します。

1. シニア中心の NPO 活動でも、常に**現役の活動としての意識**が重要である。
- ② NPO としてのマーケット作りは、対象とする**市場の問題点・課題**がスタート地点である。
- ③ NPO としても**売りの商品（技術）**が必要。
- ④ 活動をサポートしてくれる**サポーター**、とくにメディアが重要である。
- ⑤ 常に NPO としての**存在価値**を保つことが必要。
- ⑦ 顧客をマーケット化する**エイジェント部隊**が必要。
- ⑧ 行政の総合計画に盛り込まれた内容を把握し、さらに年度計画に盛り込まれた**予算措置が可能な事業にアプローチ**しない限り、行政はどんな良い企画でも予算措置は出来ないことを知らなくてはならない。

その後、フロアーからも多数の有意義な意見が出され、予定の 2 時間 30 分も時間を超過するほどの盛り上がりを見せました。その後、同会場で参加者らと懇談会が模様され盛会の内に設立シンポジウムが終了しました。

